

## — 経常研究 —

# 陶磁器製給食食器の市場調査報告

陶磁器科 河野将明

## 要 約

陶磁器製品の販売促進を図ることを目的に、全国および長崎、佐賀、福岡の小中学校における陶磁器製食器採用率、また導入に際しての阻害要因を調査した。その結果、長崎県内の小中学校の陶磁器製食器の採用率は36.5%であり更なる導入の余地があることが示された。自治体において、陶磁器製食器は、有害物質の影響が懸念される樹脂製食器よりも安全性が高いため選ばれることが多いが、一方、樹脂製食器と比べてコスト高であることや重いことなどが阻害要因になっていることがわかった。

キーワード：給食食器、採用率、市場規模

## 1. はじめに

新商品の開発するためには、その方向性、市場動向を把握したうえで取り組む必要がある。そのために市場調査やお客様の声などからニーズをいち早くつかみ、新商品に反映することが重要である。本報告では、長崎、佐賀、福岡三県の給食食器の動向と、その市場性について調査したので報告する。

## 2. 調査方法

本調査は平成22年度に「業務用食器の市場調査」として(株)工業市場研究所に委託して実施した。給食用食器市場に関する調査において、調査方法は、2011年3月に統計情報の収集・分析、文献調査およびヒアリング調査で行った。その調査項目は、(1)小中学校の陶磁器製食器の購入量(全国)、(2)陶磁器製食器を採用している小中学校の個別事例で、九州北部三県(長崎、佐賀、福岡)を調査対象とした。

## 3. 結 果

### 3.1 全国の給食用食器市場に関する調査

全国の小中学校における陶磁器製食器の採用率を図1に示す。採用率は、1994年から2006年の12年間で約10%から約30%に上昇している。同様に、全国の小中学校の陶磁器製食器の市場規模を購入量から見積もったものを図2に示す。図2は給

食食器セットの市場規模が、どのくらいかを示したものであり、年々、増加傾向を示している。今回調査委託した報告書によれば、セットの内訳は、例えば、A市の1セットは、ご飯茶碗、汁椀、皿、カップ、B市では、碗、大皿、小皿であり、この背景には、食育の観点から米飯を給食で食べるようになり、樹脂製から出る有害物質の影響を懸念されたりなどの観点から伸びてきていると述べられている。

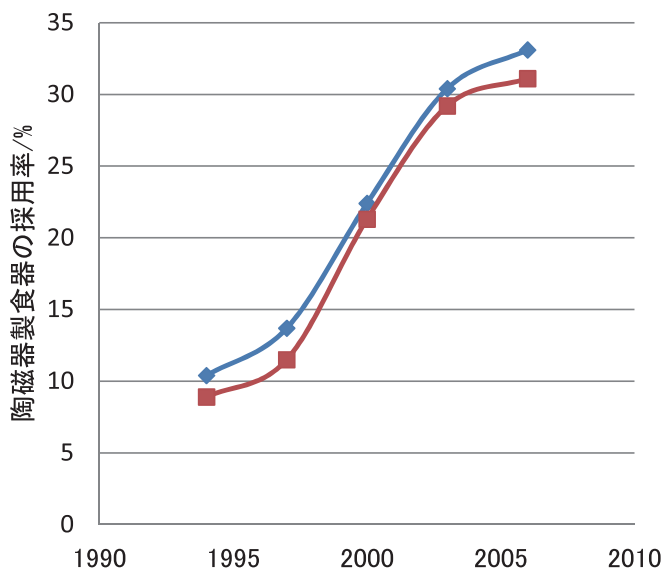


図1 全国の小中学校の陶磁器製食器の採用状況 (◆:小学校、■:中学校)

### 3.2 九州北部三県における陶磁器製食器に関する調査

九州北部での陶磁器製食器の採用率と陶磁器製食器のセット数を表1に示す。

採用率を九州北部3県で見ると、長崎県が小中学校計で36.5%、佐賀県が小学校81.3%、中学校77.0%、福岡県が小学校33.9%、中学校30.0%であった。

次に、この採用率から市場規模を推測した。セット数は、児童・生徒数×採用率より算出した。各県のセット数は、小中学校計で長崎県では約4.7万セット、佐賀県で約6.4万セット、福岡県で約14

万セットとなる。

3.1の調査結果からA市とB市の納入価格はそれぞれ2553円、1466円であることから、1セットあたり2千円と仮定した場合、長崎県の採用率から現在の購入金額は、約9300万円と見積もられる。破損率が20%と仮定すると年間9300セット、約1800万円の補充が見込まれる。また、採用されていない63.5%の小中学校が導入したと仮定して同様に見積もると約1.6億円の購入金額と補充が約3000万円となり、この合計金額が未開拓の市場となる。これらのことから給食食器は、長崎県内の採用率からみると市場開拓の余地があると考えられる。

### 3.3 給食食器に陶磁器製食器を導入する要因と阻害要因

調査委託報告書では、自治体が導入する理由には、樹脂製食器では有害物質を出すことが懸念され、安全性の高い陶磁器製食器を選ぶケースが多いことが挙げられていた。また、陶磁器製食器は、破損しやすいので、モノを大切に作る心の育成や家庭と同じ食器を使わせたいといったことも導入する理由となっている。一方、導入を妨げる要因としては、陶磁器製食器のイニシャルコストが樹脂製食器に比べて2~3倍高いこと、重量があるため調理師や生徒の負担が大きいことや専用の保管スペースを用意しなければいけないことなどが挙げられた。

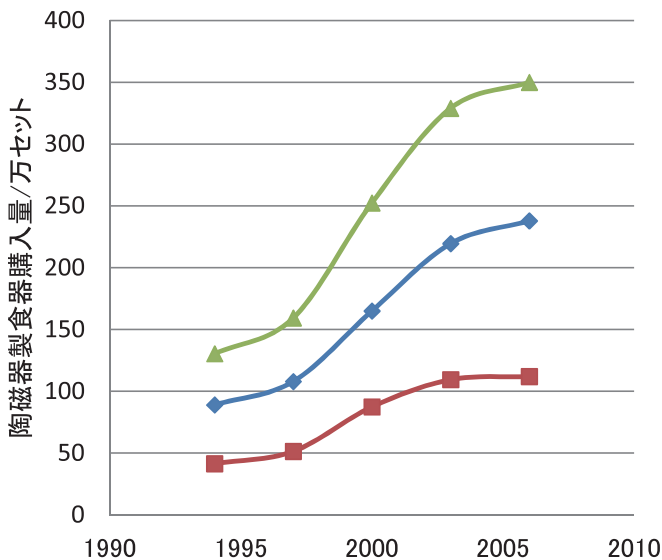


図2 全国の小中学校の陶磁器製食器の購入量 (◆:小学校、■:中学校、▲:小中学校合計)

表1 九州北部における陶磁器製食器の採用率と陶磁器製食器のセット数

	小学校 児童数/人	中学校 生徒数/人	陶磁器製食器 採用率/%		陶磁器製 食器市場規模/セット	
			小学校	中学校	小学校	中学校
長崎県	127,932		36.5		46,695	
佐賀県	52,382	27,833	81.3	77.0	42,587	21,431
福岡県	283,523	144,361	33.9	30.0	96,114	43,308

#### 4. まとめ

今回の調査結果では、長崎県内において学校給食の現状から63.5%の小中学校が陶磁器製食器を未採用であり、給食食器の市場性は十分に期待できる。

陶磁器製給食食器を導入するためには、阻害要因に挙げられたイニシャルコストを考慮した素材や食器の重量の問題を解決しなければならない。しかし、三川内焼の陶磁器製給食食器が平成24年度秋以降に佐世保市立中学校15校に導入される予定<sup>1)</sup>であり、陶磁器製給食食器の導入が調査で判明した阻害要因と必ずしも一致しないが、学校給食食器には軽くて強い食器が望まれており、この素材を開発することで市場性のある給食食器に参入できる可能性があることがわかった。

今後、県内小中学校の給食用陶磁器製食器の導入率は、全国平均より上回っているものの、導入率が殆ど増加していない現状について、県内の学校における給食用陶磁器食器の導入に係る実態(市場規模・流通ルートなど)を調査し、導入普及率を上げるべく販売戦略構築について把握していく予定である。

#### 5. 文 献

- 1) 長崎新聞(平成23年5月25日).